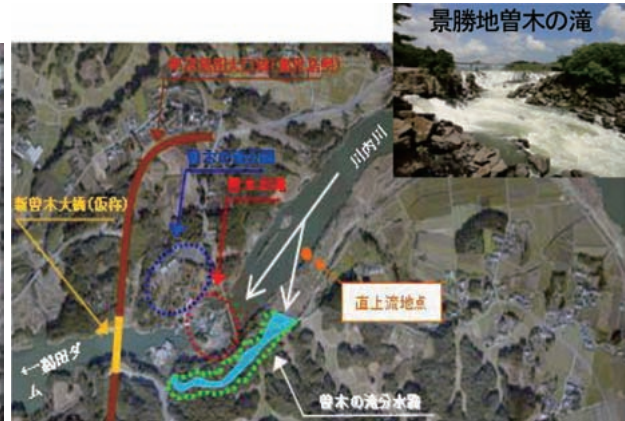


【河川部門】

事業名 川内川河川激甚災害対策特別緊急事業
 受賞機関 国土交通省九州地方整備局川内川河川事務所
 実施期間 平成18年10月～平成24年3月



さつま町虎居地区（築堤、推込分水路）



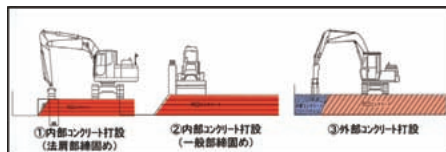
伊佐市曾木地区（曾木の滝分水路）

〔事業概要と評価〕

採択延長62.3km（歴代2位）、用地取得面積約68万m²、築堤延長約16km、掘削量約200万m³という大規模な事業の実施に当たって、具体的な川づくりを議論する「川づくり検討会・住民部会」、利活用及び維持管理（ソフト面）を中心に議論する「川まちづくり懇談会」、現有の動植物相の把握や自然環境に配慮した激特事業を行うための「川内川激特事業環境影響検討委員会」等を開催し、環境・景観等に配慮した事業を住民参画により実施した。

賛助会員：(株)建設技術研究所、(株)千代田コンサルタント、(株)東京建設コンサルタント、パシフィックコンサルタンツ(株)

事業名 嘉瀬川ダム建設事業
 受賞機関 国土交通省九州地方整備局嘉瀬川ダム工事事務所
 実施期間 昭和63年4月～平成24年3月



巡航RCD工法の施工手順



嘉瀬川ダム全景



巡航RCD工法全景

〔事業概要と評価〕

嘉瀬川ダムで、現在のRCD工法をより合理化するため、打設速度をほぼ一定に保つ高速施工法である「巡航RCD工法」を実現すべく、個別の技術的課題の検討を積み重ね、実用化に至ったことは高く評価できる。当該ダムでは、この工法を用いて、内部のRCDコンクリートを先行打設し外部コンクリート打設と分離すること、内部コンクリートを任意の位置で打ち止めることにより打設速度の高速化・平準化を達成し、従来のRCD工法に対し約1.3倍程度の打設速度向上を実現した。

賛助会員：オリエンタル白石(株)、(社)九州地方計画協会、(株)建設技術研究所、(株)東京建設コンサルタント